

検査項目の解説

	検査項目	検査によりわかること
血液一般	赤血球	貧血、多血症などがわかります。
	ヘモグロビン	
	ヘマトクリット	
	白血球	感染症や血液疾患（特に白血病）などがわかります。
	血小板	止血機能をみる重要な指標です。
	血清鉄	鉄欠乏、過剰などの鉄代謝異常が推測できます。
肝機能等	総ビリルビン	胆汁中の主要な色素で、高値になると肝胆道の障害の指標となります。
	直接ビリルビン	
	GOT(AST)	肝臓、心臓、骨格筋など比較的多量に分布している臓器の障害を推測します。肝疾患、心疾患（特に心筋梗塞）、骨格筋疾患等で増加します。
	GPT(ALT)	比較的、肝臓に多く含まれるため、主として肝疾患の指標として用います。
	γ-GTP	主に、肝臓に存在する酵素です。肝胆道系の異常、アルコール性肝障害、常習飲酒者において鋭敏に上昇します。
	ALP-IF	肝臓や骨に多く含まれます。通常、肝胆道系疾患で増加します。値は小児＞成人、男性＞女性の傾向があります。
	LDH-IF	体内のあらゆる臓器に分布しており、細胞が壊れると血液中の濃度が上昇します。主として、肝障害、心筋梗塞、血液疾患、筋肉疾患等で増加します。
	総蛋白	血清中に含まれる蛋白質の総量です。栄養不良、ネフローゼ症候群、熱傷、肝障害等で減少します。
	コリンエステラーゼ	肝臓で合成されます。脂肪肝、肥満、糖尿病等で高値を示し、慢性肝炎、肝硬変、有機リン剤中毒等で低値を示します。
脂質	尿ウロビリノーゲン	肝障害、溶血性貧血。便秘でも陽性になることがあります。肝炎などで肝臓の働きが悪くなると、尿中のウロビリノーゲンの量が多くなり、ウロビリノーゲンが検出されない場合は、胆道閉塞などが疑われます。
	総コレステロール	主要脂質成分の一つで、高コレステロール血症、動脈硬化症、内分泌代謝異常等の指標となります。
	中性脂肪	コレステロールほどではありませんが、動脈硬化の危険因子です。中性脂肪が増えすぎた状態は、「脂質異常症」とされます。1000mg/dl超えると急性膵炎の原因となります。
	HDL-コレステロール	血液中の増えすぎたコレステロールを取り込み、肝臓へ運搬する働きがあり、抗動脈硬化作用を示します。喫煙、肥満、運動不足等で低値になります。
尿一般	LDL-コレステロール	コレステロールを肝臓から動脈壁に運び動脈硬化を進めます。肝臓で作られたコレステロールを全身に運ぶ働きがあり、増えすぎると動脈硬化の原因となります。
	尿蛋白	腎性蛋白と尿路の異常（炎症・結石・腫瘍など）。広く腎疾患のスクリーニング検査として用います。腎臓の病気が原因となるものや、全身の病気が影響し、蛋白尿が出る場合があります。
	尿糖	糖尿病（高血糖）、腎性糖尿がわかります。
	尿ケトン体	重症糖尿病、妊娠、下痢・嘔吐・飢餓状態などで陽性となります。
尿一般	尿潜血	腎障害、尿路の出血。目で見ても分からない程度の出血（潜血）もわかります。

検査項目の解説

	検査項目	検査によりわかること
腎機能	尿素窒素	腎機能障害（腎不全）の有無など確認できます。
	クレアチニン	
	eGFR	腎臓の「老廃物をろ過する能力」を示す数値です。数値が高いほど腎機能は良好です。
	Na(ナトリウム)	電解質の中でも重要で、細胞内外に存在し、生体内の恒常性の維持に重要な役割を果たしています。浮腫、嘔吐、下痢、利尿剤投与時等に変動する事があります。
	K(カリウム)	
	Cl(クロール)	
	Ca(カルシウム)	各種の内分泌疾患や、腎疾患、骨代謝異常の有無を推測できます。
	P(リン)	Caとともに測定する事により、各種内分泌、骨代謝異常をきたす疾患の病態を推測できます。
痛風	尿酸	基準値よりも高い状態を高尿酸血症といい、痛風や腎機能障害、腎臓、尿路結石などの病気を引き起こします。
糖尿	血糖	糖尿病や低血糖などの診断、経過観察、治療に用います。
	HbA1c (ヘモグロビン・エーワンシー)	糖尿病の診断や治療などに用います。約1～2ヶ月間の血糖のコントロール状態を反映します。
炎症	CRP	感染症をはじめとする炎症性疾患、悪性腫瘍、外傷など多くの病態で増加し、その活動性の指標となります。
リウマチ	RF	関節リウマチやその他の自己免疫疾患の有無を調べます。
肝炎	HBs抗原	HBs抗原陽性である事は、B型肝炎ウイルスによる感染状態にある事を示します。
	HBs抗体	HBs抗体陽性である事は、かつてB型肝炎ウイルスの感染を受けた事を示します。
	HCV抗体	C型肝炎のスクリーニングや診断、病態、予後の把握、治療効果判定などの時に測定します。
梅毒	TPHA法	梅毒の病原体そのものに対する抗体と梅毒に感染すると作られる抗体を調べます。現在感染しているか(RPR)、過去に感染したことがあるか(TPHA)を判定します。
	RPR	
膵臓	血清アミラーゼ	膵疾患、唾液腺疾患で高値を示します。
甲状腺	TSH	TSHは、甲状腺ホルモンなどを制御する下垂体ホルモンです。甲状腺から分泌されるFT3・FT4ホルモンとあわせて、甲状腺機能を判定する重要な検査です。
	FT3	
	FT4	